

28. 5. 31

佐倉市

教育センターだより Vol. 39

平成28年5月31日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043(486) 2400 http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/13-6-0-0-0_6.html

「人とのかかわり」は社会性の基礎

佐倉市教育センター所長 塚 本 学

4月25日に佐倉市適応指導教室の校外学習で佐倉ふるさと広場に行ってきました。この日は天候に恵まれ、風が心地よく、とてもすがすがしい気分で過ごすことができました。チューリップフェスタは終わっていましたが、ピンクや黄色、オレンジなど色とりどりの花々が薄い陽ざしに輝き、とてもきれいに咲いているところがまだ多くありました。新学期を可憐な姿で迎えてくれた鹿島川沿いの桜の木も濃い緑色の葉と変わり、季節が足早に移っていくを感じました。このセンターだよりが発刊されるころは、もう初夏の陽気となっているかもしれません。

さて、新年度が始まり2か月が過ぎようとしています。学校では新たな仲間づくりや環境づくりの緊張から少し解放され、学校生活にも慣れ、順調に進んでいる時期なのだと思います。この時期は、新しい仲間ができる、日々の活動に充実した毎日を送れる人と、学級や学年のためにになりたいと思いながらも、うまく軌道に乗れず、周りを気にし始める人がいます。教師や大人からすれば、周りの人や失敗を気にせず、「できることをがんばればいい」と思いますが、なかなかそうはいかない子供たちもたくさんいます。ひょっとすると同じ状況の先生方もいるかもしれません…。

現代は、自立や社会性の基礎となる「人とかかわりたい」という意識が低下しているといわれています。そのことが、人間関係の希薄化を生み、他人を傷つけたり、ルールを守らなかったり、人のせいにしたり、集団になじめなかったりという現象になっていきます。「人とかかわりたい」という気持ちは、自らの体験によって獲得されるものです。他の子供と一緒に遊んだりすることで、「かかわることが楽しい」と感じることから自立や社会性の基礎を形づくっていくものです。SNSが進歩し続ける今だからこそ学校、家庭、地域がそれぞれの立場で、しっかりと役割を果たし、一体となって、「人とかかわることは楽しい」という体験を子供たちにさせていくことが大事なことではないかと思っています。

佐倉市教育センターは14年目を迎えました。教育センターでは、学力向上、特別支援、教育相談、道徳教育、学校図書館活性化、教育センター普及振興の6事業を中心に取り組んでいます。教育センターに着任して、2か月が過ぎましたが、この間所員の業務に携わる姿を見ていて、保護者、地域、学校、市関係課、その他関係機関との連携の重要性を強く感じています。これは学校現場でもいえることだと思いますが、相談を受けた時の連携（連絡・相談）は容易にできるが、その後の経過や結果についての連携（報告・確認）がおろそかになっていないかということです。「多くの相談がある」「忙しい」「時間がない」を言い訳とせず、センターとしての重要な機能である相談業務を通し子供たちのために積極的なかかわりを心掛けていきたいと思っています。本年度もよろしくお願ひいたします。

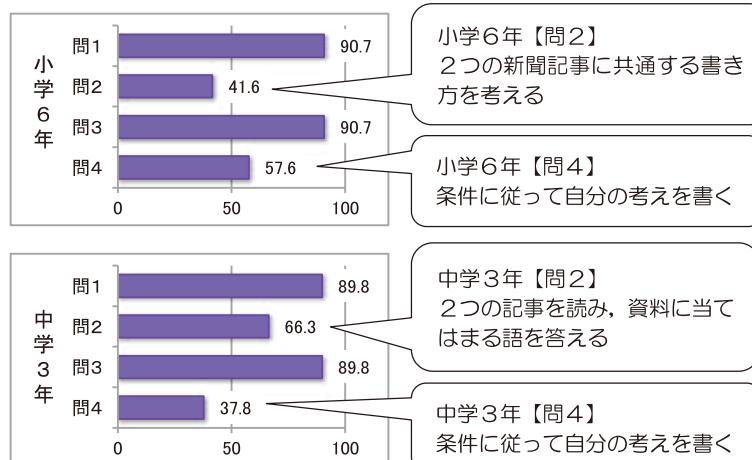


平成27年度 佐倉市学習状況調査～活用力～

平成27年度佐倉市学習状況調査の調査結果から、国語、算数・数学の知識・技能等を活用して課題を解決する力について、分析・考察したことをまとめました。子供たちが活用力を身に付けるために、実態に合わせて指導内容を見直したり、指導方法を改善したりすることが大切であると考えます。

【調査1】国語の知識、技能等を活用する力に関する調査より

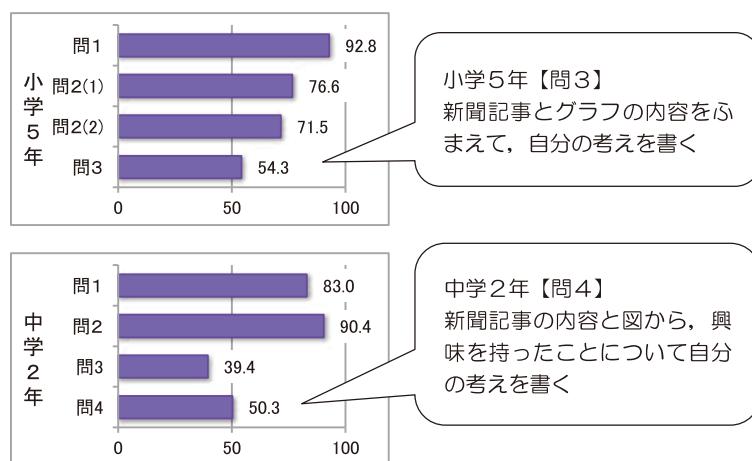
課題① 2つの文を読み比べること、読み比べて自分の考えを書くこと



改善例

- 並行読書を含め、複数の文章を比較しながら読む機会を増やす。
- 複数の文章を読みながら、文章の形式や特徴をとらえる学習活動を取り入れる。
- 複数の文を読むとき、観点を明確にする。
- 書くことへの抵抗をなくすために、各単元や他教科でも、短い文章を書かせる。
- 目的やテーマ、相手等を具体的に決めて文章を書かせる。また、書いた文章を目的等に照らし合わせて、グループで検討させる。

課題② 図表やグラフから読みとったことについて自分の考えを書くこと

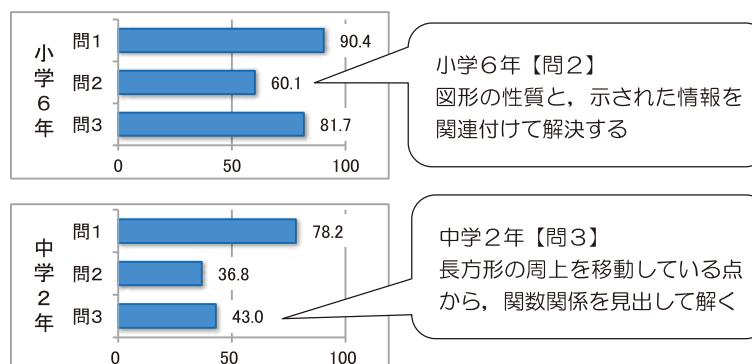


改善例

- 図表やグラフ等の多様な素材を積極的に学習に用いて、読み取るポイントを身に付けさせる。
- 国語以外のさまざまな教科（社会、算数・数学、理科、総合的な学習の時間等）で、資料から読み取ったことに対する自分の考えを書く活動を取り入れ、文章を書くことに慣れさせる。
- 自分の考えを書く際、図表やグラフ等の資料を活用することで説得力が増すことを意識させる。

【調査1】算数・数学の知識、技能等を活用する力に関する調査より

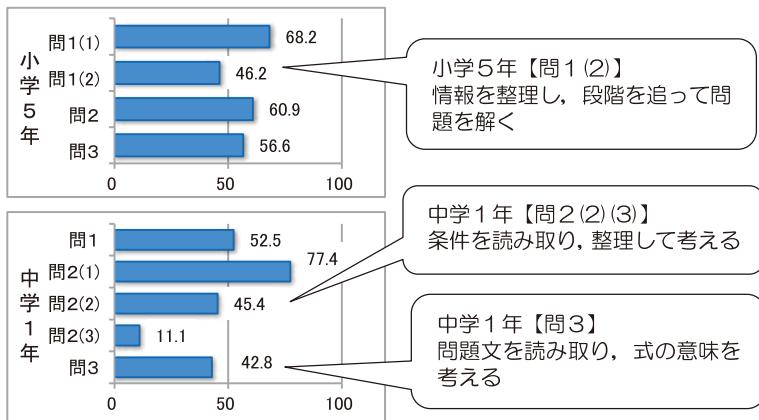
課題③ 関数・図形分野において、発展的に問題をみることや論理的に考えること



改善例

- 関数では、具体的な事象と関連付けて考察させるとともに、グラフの傾きが何を表現しているか理解させる。
- 図形では、とらえた関係や性質を根拠として解決方法を説明する活動を取り入れる。

課題③ 関数・図形分野において、発展的に問題をみるとことや論理的に考えること

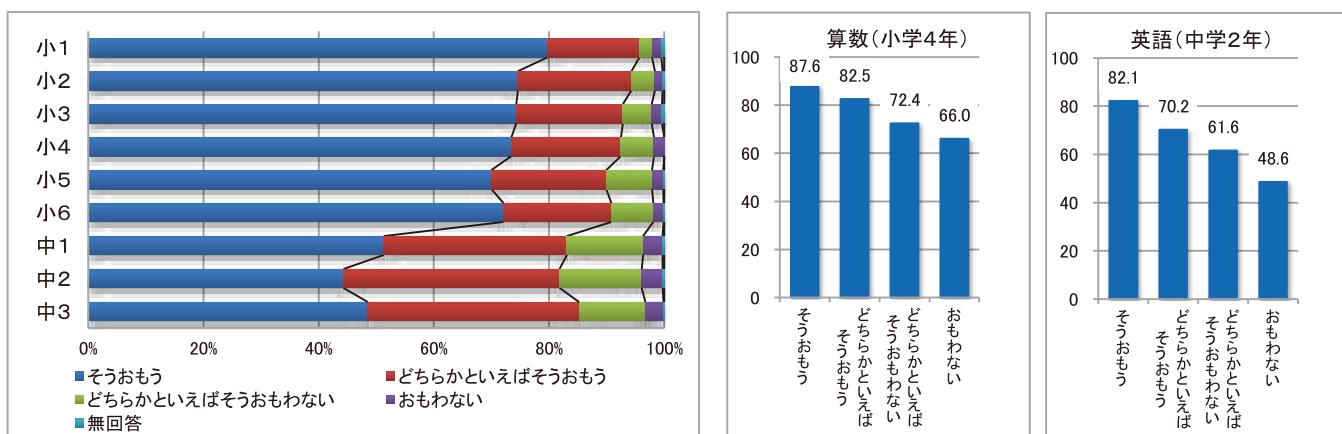


改善例

- 問題を解く前に、問題解決の見通しをもたせる。また、問題を解いた後に、用いた考え方や解決の筋道について、説明させたり振り返らせたりする。
- ①必要な情報を取り出す ②解決の見通しをもつ ③筋道立てて考える ④文章や式、図などで論理的・数学的に表現する ⑤問題解決の過程を振り返る 等、問題解決型の学習を行う。

【調査2】児童・生徒、教諭・講師等の学習意識に関する調査より

質問①「宿題は最後までやりとげるようしている」 質問②「宿題は最後までやりとげるようしている」と「平均得点」 (児童・生徒)

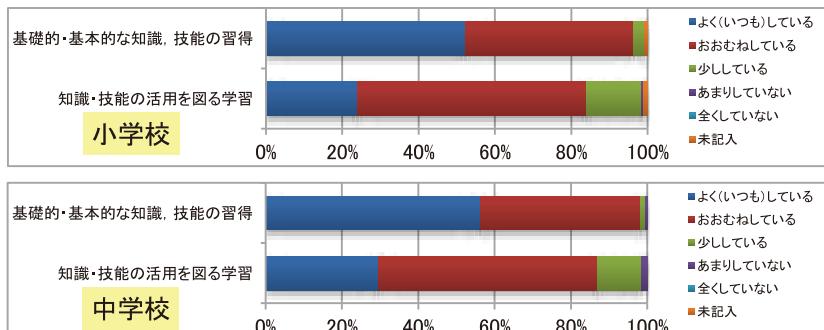


「宿題は最後までやりとげるようしている」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童・生徒は昨年度に比べて増えており、課題への取組が習慣化していることがうかがえる。また、「最後までやりとげるようしている」児童・生徒とそうでない児童・生徒では、各教科の平均得点に大きな差が見られた。

計画的に宿題（家庭学習）の課題を出すこと、最後まで取り組むよう指導を徹底することが大切である。

質問③ 「基礎的・基本的な知識、技能の習得をめざした学習に力を入れていますか」 (教諭・講師等)

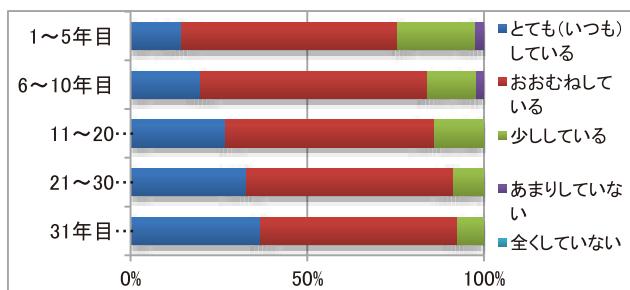
質問④ 「知識・技能の活用を図る学習に力を入れていますか」 (教諭・講師等)



小・中学校ともに、基礎的・基本的な知識、技能の習得に比べ、それらの活用を図る学習についての意識は低くなっている。

発達段階に応じて、「習得したものを活用する」という意識から、「活用するためには必要な知識、技能を習得する」あるいは「活用しながら知識、技能を習得する」という、意識の転換が必要となってくる。

質問⑤ 「知識、技能の活用を図る学習に力を入れていますか」と「経験年数」 (教諭・講師等)



「知識、技能の活用を図る学習に力を入れているか」との質問に対し、肯定的な回答をした教諭・講師の割合は、経験年数が多くなるほど高いという結果であった。

経験年数が両極化している今、習得した知識、技能を活用する力を育てるために、研修会等を利用して指導法を検討するだけでなく、日々、互いの授業を見合ったり、情報を交換しあったりする等、意識して授業改善に取り組んでいく必要がある。

平成28年度 佐倉市の教育相談事業

適応指導教室



何らかの理由で学校生活に不適応な状態になっている児童生徒に対して、学習や小集団生活の場を提供します。そこでの生活をとおして自己肯定感を高めるとともに、コミュニケーションを通して、他の人と信頼関係を築いていくことで学校生活への復帰をめざしていきます。

- 開設日**
- ・月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）午前9時～午後4時
 - ・児童生徒は午前10時～午後3時 での活動となります。

※志津教室は、第2・4月曜日は複合施設内のためお休みとなります。



志津教室

佐倉市西志津4-1-2
(西志津ふれあいセンター2階)
電話 489-1002
小集団による活動を行っています。コミュニケーションの育成や学習支援をしています。



佐倉教室

佐倉市栄町8番地7
(佐倉市ヤングプラザ2階)
電話 484-6611
個別対応を中心に学習支援を行っています。小集団の活動も行っています。

一日の主なスケジュール

10:00	朝の会 一人一言（今日の目標）
10:10	各自の計画に沿った学習
11:00	休憩
11:10	各自の計画に沿った学習
12:00	昼食（お弁当）・昼休み
13:00	昼の読書活動、スポーツタイム 楽しい活動（創作活動・卓球・レク等）
14:50	清掃 帰りの会 一人一言（今日の反省）
15:00	帰宅

どんな活動をしているの？



ハンバーグづくり

毎日の学習のほかに、創作活動や校外学習などの交流活動を行っています。



ジャガイモ堀り

教育電話相談



佐倉市ヤングプラザ2階に設置している「教育電話相談室」では、市民、保護者・児童生徒など様々な方からの相談を受け付けています。経験豊富な相談員が丁寧に対応し、アドバイスをしてくれます。また、来所しての面談を行うこともできます。内容は「家庭問題に関するここと」「学校に関するここと」の順となっています。より専門的なアドバイスを受けられる相談窓口を紹介する場合もあります。

心の教育相談員の配置



佐倉市内の小学校8校に、心の教育相談員を配置し、児童・保護者の悩みや不安に関する相談を受け付けています。

友だち関係や学校に関するこことだけでなく、日々の生活の中でのちょっとした悩みも遠慮なく相談できるような体制づくりを心掛けています。

また、校内を巡回して子供たちの様子を捉え、さりげなく声をかけるなどの支援も行っています。

平成28年度

教育センターの特別支援教育

発達相談

担当の学校教育相談員：山辺浩子・小澤千晶・熱田絹江
学校支援コーディネーター：濱野輝子

学校（園）生活や家庭生活でうまくいかないことが多い、学校への行き渋りがあるなど、困難さが見られる幼児・児童・生徒、その保護者の方を対象に相談事業を行っています。

必要に応じて保護者の方のご承諾のもと、諸検査等を実施して、より詳しく実態把握を行い、結果に基づく適切な支援について担任の先生とも連携を図り、楽しい学校生活につなげていきます。

●相談日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）

相談時間 ①10:00 ②11:00 ③13:30

④14:30 4コマ（各1時間）で対応

●所在地 佐倉市将門町7番地（佐倉市立佐倉東小学校内）

●電話 486-2400



どうぞお気軽に
お電話ください。

就学相談

担当の指導主事：越後貴義文・腰地みなこ

保護者の方や学校からの就学に関する相談に応じます。学校・関係諸機関等と連携しながら、その子供にとって一番望ましい就学の方法や、適切な教育支援の内容を一緒に考えていきます。

●相談日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）午前8時30分～午後5時15分

●場所 佐倉市将門町7（佐倉市立佐倉東小学校内）

●電話 486-2400

インクルーシブ教育システム推進事業

佐倉市教育委員会では、平成25年度から27年度までの3年間、文部科学省の委託を受け、インクルーシブ教育システム構築モデル事業（スクールクラスター）の研究に取り組んできました。

研究は終わりましたが、今後も特別な支援が必要な子どもが、「みんなと一緒に」「適切な支援を受けながら」「最大限に能力を発揮」できるようにするための体制づくりを進めます。

○市内教職員の専門性の向上と意識の高揚に向けた取組

- ①担当者会議及び校内研修会等における「研究のまとめリーフレット」の活用
- ②「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に関する情報提供
- ③言語教育研修会開催による、「ことばの発達」への理解推進

○スクールクラスター（教育資源）構築によるチーム支援充実に向けた取組

- ①学校支援コーディネーターを活用した言語通級指導教室利用児童への手厚い支援
- ②「佐倉市障害者総合支援協議会療育支援・教育部会」の活用による他機関との連携強化
- ③教育センターを中心とした特別支援学校との連携（センター的機能、居住地校交流、通級等）
- ④佐倉市ライフサポートファイルの活用推進

○適切な合理的配慮の提供に向けた取組

- ①チーム支援会議の実施による合理的配慮の整理
- ②個別の指導計画、あるいは応援計画の活用推進
- ③教育センター等報告会で、合理的配慮提供に関する事例を報告

平成28年度 教育センター事業紹介

教育センターは、6つの事業《学力向上推進事業・特別支援教育推進事業・教育相談事業・道徳教育推進事業・学校図書館活性化事業・教育センター普及振興事業》を中心に、センター機能の充実を図り、各校の教育活動のニーズに合った支援をしていきます。

学力向上推進事業

- ・佐倉市学習状況調査
- ・好学チャレンジプリント作成
- ・全国学力・学習状況調査
- ・教育課題調査研究

特別支援教育推進事業

- ・就学指導・就学相談
- ・発達相談
- ・特別支援教育関連研修会
- ・特別支援教育支援員配置

教育相談事業

- ・適応指導教室の運営
- ・教育電話相談室の運営
- ・心の教育相談員配置
- ・教育相談基礎講座

佐倉教育ビジョンの推進

道徳教育推進事業

- ・佐倉学道徳副読本
「佐倉の道徳」活用推進
- ・佐倉学道徳教材の作成

学校図書館活性化事業

- ・学校図書館担当者会議
及び研修会
- ・学校図書館司書派遣

教育センター普及 振興事業

- ・センターだよりの発行
- ・センター等報告会の開催

センター機能を生かした取組や情報・資料の提供をしています。

各種学習指導案、研究紀要の閲覧

市内各小中学校で作成、実践された学習指導案・研究紀要を管理しています。ご連絡いただければ閲覧ができます。

各種教科書の閲覧及び貸出

佐倉市で採択していない、小中学校の教科書も管理しています。閲覧・貸出を行っていますので、指導の参考にご活用ください。

先覚者パネルや佐倉学関係資料

佐倉市ゆかりの先覚者の顔写真と経歴が載っているパネル(21名)を保管しています。佐倉学の学習でご活用ください。

画家「芝千秋」の作品複製画

浅井忠の弟子であった、芝千秋の鉛筆画水彩画(複製)を保管しています。図工・美術の授業でご活用ください。